

核兵器禁止条約の交渉会議への参加と

条約実現を求める意見書提出を求める請願書

平成 29 年 5 月 26 日

日進市議会議長 小野田利信様

請願者住所氏名

丸山安長
吉岡正明
川島小恵子
若尾真理子
水野妙子
片岡拓

紹介議員

ごとうみき

1 請願の要旨

核兵器禁止条約の交渉会議への参加と条約実現の努力を求める意見書の提出を求める。

2 理由

2016年12月23日、国連総会は核兵器禁止条約の締結交渉開始決議を賛成113か国という多数で採択した。この決議に基づいて今年3月に核兵器禁止条約に関する国連の会議の第1会期が開催された。日本政府は決議に反対しその後の会議にも参加していない。これは唯一の戦争被爆国として、核兵器の非人道性、残虐性を体験した日本が核兵器廃絶に積極的にかかわってほしいという国民の願いに背くものである。よって6月15日から7月7日まで行われるこの会議の第2会期に、日本政府が参加するよう強く要請するために意見書を採択し国に提出するよう求める。

請願 第 1 号
受理 平成29年5月26日
受付 平成29年5月26日
日進市議会事務局

平成 29 年 月 日

衆議院議長様
参議院議長様
内閣総理大臣様
総務大臣様
外務大臣様
内閣官房長官様

〇〇議会議長 〇〇〇〇

核兵器禁止条約の交渉会議への参加と条約実現への努力を求める意見書（案）

日本政府に本年 3 月から国連本部で開始されている核兵器禁止条約の交渉会議に参加し、条約の実現に努力するよう強く要望する。

理由

昨年 12 月 23 日、国連総会において核兵器禁止条約の制定交渉を本年 3 月から開始する決議が賛成多数で採択された。核兵器を条約で禁止し、廃絶することについては、長年にわたって国際社会が強く求めてきたところであるが、我が国は多くの核兵器保有国に同調し、この決議に対し反対票を投じた。我が国は、核兵器の非人道性、残虐性を自ら体験した唯一の被爆国として、とりわけ核兵器廃絶への取組に積極的に貢献してきたところであり、政府は各国政府と協力して積極的にその役割を果たしていくことが求められている中、この決議に反対したことは、国民や被爆者に対して背を向ける態度と言わざるを得ない。

よって、国においては、核兵器により唯一国民が被爆した国として、核兵器廃絶の取組を推進するため、本年 3 月から国連本部で開始されている核兵器禁止条約の交渉会議に参加し、条約の実現に努力するよう強く要望する。

上記のとおり地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。